“ふるさとちば”のための政策推進を

三沢さとし県議会リポート

発　行／自由民主党千葉県議会議員会　〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13　電話043(227)7411

三沢県議 海岸漂着物対策で要望

漂着ゴミは社会全体の課題

県議2期目で、館山市選出の三沢智(みさわ・さとし)県議は、熊谷俊人知事が初めて自らの政策理念で編成し、県議会に提案した補正予算案を審議する6月定例県議会で、一般質問に登壇しました。この中で、三沢県議は以前から問題提起している、海岸に打ち上げられる流竹木などのゴミ問題を取り上げ、海岸漂着物の処理に当たっては、国の補助金制度を活用し、市町村と連携してゴミを減らすことは社会全体の課題だと強く訴えました。そのほか南房総地域の諸問題と合わせ、三沢県議の主な質疑を特集しました。

コロナ対策をした本会議場に立つ三沢県議

重点区域に5市追加

三沢議員　初めに、海岸漂着物について質問します。

県では、「千葉県海岸漂着物対策地域計画」に基づき、国や市町村等と連携し、海岸環境の保全に取り組んでおり、我が地元の館山市を含む重点区域においては、国の「地域環境保全対策費補助金」を活用し、漂着物の処理が行われてきました。

そこで質問します。「地域環境保全対策費補助金」を活用した、海岸漂着物の処理状況はどうか。

環境生活部長　県では、令和2年度において、国の同補助金を活用し、館山市など5市で約157トンの海岸漂着物の処理をしたところです。

今年度からは、千葉県海岸漂着物対策地域計画における重点区域を5市追加して15市とし、同補助金を活用しながら、地元市町と連携した計画的な処理を進めることとしています。

三沢県議　県では、同補助金を活用した海岸漂着物対策にどのように取り組んでいるのか。

環境生活部長　県では同補助金を活用して、重点区域における漂着物等の処理を行うとともに、海岸保全の重要性を訴える動画の配信や、漂着物の実態を分かりやすく示したリーフレットの県内全小学校への配付等による啓発に取り組んでいます。

要望　海岸漂着物対策は、海岸に流れ着いたゴミを確実に処理することと同様に、県民に向けてゴミを川や海に捨てない、ゴミを減らしていく啓発を行うことも重要であり、社会全体の課題として取り組むことが求められています。今後とも、国や市町村と連携し、海岸漂着物対策にしっかりと取り組むよう要望します。

新規漁業者の確保

三沢議員　漁業就業者の確保と育成は、水産物の安定供給のみならず、沿岸地域の活性化の視点からも重要な課題となっており、漁業に関心を持つ就業希望者と地域をつなげ、新たな漁業の担い手として確保・育成していくことが急務と考えます。

新規漁業就業者の確保について、県はどのように取り組んでいるのか。

農林水産部長　本県でも漁業就業者の減少と高齢化が進んでおり、生産力と漁村の活力を維持するためには、新規漁業就業者を継続的に確保・育成し、年齢バランスの取れた就業構造を構築することが重要です。

そこで県では、水産事務所を窓口として、就業相談や体験・技術研修を行っています。さらに昨年度は、操業実態や収入など漁業種類別の就業モデルや先輩漁業者の声を掲載した漁業の仕事をイメージしやすいパンフレットを作成し、相談会の場や海洋系高校で配布することにより、漁業の魅力を伝えているところです。

要望　水産事務所に窓口があることを十分に周知し、地元漁協と連携して、新規漁業就業者の確保に取り組んでもらいたい。

海水浴場の感染対策

三沢議員　新型コロナウイルス感染症対策に伴い、県では海水浴場を開設するためには、どのような感染防止対策に取り組む必要があると考えているのか。

熊谷知事　県は、先般、海水浴場のある市町村に対し、海水浴場を開設する場合、感染防止のため留意すべき事項について通知したところです。

具体的には、「3つの密」の回避や、マスクの着用、手洗い、手指消毒、海の家における外食業ガイドラインの遵守など、基本的な感染防止対策を徹底するとともに、すでに不開設が決定した海水浴場も多数あることから、開設した場合に、例年以上の来場者となることも想定し、必要に応じ、入場者数の制限や駐車場の閉鎖、混雑状況の情報発信などに取り組んでいただくよう要請したところです。

千葉県の食育活動

三沢議員　今月は、国が定めた食育月間であり、本県でも関係者が一体となって啓発活動を行っています。県では、食育をどのように推進しているのか。

農林水産部長　県では、第3次食育推進計画に基づき、「ちばの恵み」を取り入れたバランスの良い食生活の実践による生涯健康で心豊かな人づくりを基本目標として、各種施策に取り組んでいるところです。

具体的には、収穫体験や料理教室など、生産から消費まで食のつながりを意識した体験活動を推進するとともに、県産農林水産物の消費拡大や郷土料理など食文化の啓発に取り組んでいます。

また、食生活の課題は世代別に異なることから、子どもの朝食摂取の啓発や高齢者の健康増進など世代に応じた施策を展開しています。

地域と協働した教育を訴え！

県立高校の魅力づくり

安房地域の高校進学率

三沢議員　私の地元の安房地域には県立高校が4校設置されています。この先、少子化がますます進む中、学校の活力を維持し、将来地域を支える人材を育成するためには、地域と協働した教育をさらに進めることが大切だと考えます。

安房地域における県立高校及び私立高校への進学率はどうか。

冨塚教育長　安房地域を含む南房総教育事務所管内における昨年度の公立中学校卒業者5815人のうち、県内の公立高校には3680人、私立高校には1789人が進学しました。

進学率は、公立63・3%、私立30・8%であり、5年前と比較すると公立が2・5ポイント減少し、私立が2・1ポイント増加しています。

三沢議員　魅力ある高校づくりを進め、地域の子供たちが「入りたい」と思えるような県立高校の魅力を、県民にもっとPRしていくべきと思うがどうか。

冨塚教育長　安房地域では、地域に求められる人材の育成や地域の産業と連携した職業教育を推進するため長狭高校に「医療・福祉コース」を、安房高校に「教員基礎コース」などを設置し、また、館山総合高校に「観光の学び」を導入するなど、各校の魅力化・特色化を進めてきました。

今後、高校生が母校の中学校を訪問し、高校の魅力を伝えたり、学校紹介の動画配信等を行うなど、中学生や保護者をはじめ、地域へのさらなる広報の充実に努めてまいります。

増加傾向の不登校

三沢議員　県教育委員会によると、本県公立学校における、令和元年度中に連続または断続して30日以上欠席した、いわゆる不登校児童生徒数は、小中高等学校を合わせると9882人とのことであり、近年増加傾向が続いており、1万人の大台が近づいている状況です。

家庭で多くの時間を過ごしている不登校児童生徒への県の取り組み状況はどうか。

冨塚教育長　令和元年度の本県公立学校の不登校児童生徒のうち、学校・その他の相談機関等からの支援を受けていない者が約4割となっており、当該児童生徒の状況を把握し、保護者との共通理解に基づく支援につなげることが大変重要だと認識しています。

県教育委員会では、家庭を訪問して支援機関への橋渡し等を行う訪問相談担当教員を、各地区の拠点校12校に配置し、フリースクール等の情報を掲載したパンフレットを作成し、保護者に向けて情報発信したところです。

今後もこのような取り組みを推進するとともに、家庭と学校・支援機関をつなぐスクールソーシャルワーカーの活用を促進するなど、個々の状況に応じた不登校児童生徒の支援充実に努めてまいります。

発言を求めて自席から挙手する三沢県議

水産校舎のグラウンド

三沢議員　県立館山総合高校水産校舎のグラウンドについて、地元自治体などに貸し付けや売却するなど、有効活用すべきと思うがどうか。

冨塚教育長　地元自治体や商工会議所等から地域振興のための借用の申し出があれば、学校の教育活動に支障がない場合には、県教育財産管理規定に基づき対応することとしています。

なお、グラウンドを売却する場合は、館山総合高校海洋科の授業での必要性や、県での利活用等について、慎重に検討していく必要があると考えています。

要望　まずは7年度以降を見据え、教育の質を下げないことを最優先に考えつつ、地元の声をよく聞いた上で、地域の活性化につながるよう、グラウンドの有効活用に向けて検討を進めるよう要望します。

イノシシの捕獲強化

三沢議員　県南地域におけるイノシシの捕獲強化に向けた取り組みはどうか。

環境生活部長　県では、イノシシなどの有害鳥獣の捕獲を行う市町村に対し、捕獲数に応じて補助金を交付し、支援を行っています。

また、平成30年度から3年間、主に県南地域において、住民が一体となり、地域ぐるみで捕獲や防護等に取り組めるよう、県の専門職員が技術指導などを行うモデル事業を実施しており、昨年度末に地域の指導者向けの「獣害対策マニュアル」を作成したところです。

こうした取り組みなどにより、令和2年度の市町村によるイノシシの捕獲頭数は、館山市で2357頭、南房総市で6196頭であり、いずれも前年度より増加しています。

三沢議員　今後、県は県南地域における有害鳥獣対策をどのように推進していくのか。

熊谷知事　平成29年に策定したイノシシなどの「特定鳥獣管理計画」の計画期間が、本年度末に満了することから、今後、農業被害や生息状況を調査し、専門家や市町村、地区猟友会などの意見を聞きながら、県南地域を含め有害鳥獣による被害の軽減が図られるよう、計画を見直してまいります。

合同庁舎の再整備へ

三沢議員　安房合同庁舎の再整備について、今後どのように進めていくのか。

総務部長　新たな合同庁舎は、地域振興事務所や県税事務所などのほか、周辺の安房保健所や南部漁港事務所等を集約の上、旧県立安房南高校跡地に整備することとしています。

6月補正予算案では、土壌調査に必要な予算を計上するとともに、基本設計等に係る債務負担行為を設定することとしたところです。

引き続き、地元市と調整を図りながら、令和8年度中の供用開始を目指し、整備を進めてまいります。

三沢議員　今後、新たな合同庁舎の整備を進めるに当たり、どのような点に配慮していくのか。

総務部長　今般の再整備に当たっては、

☆利用者の立場に立ったバリアフリーやユニバーサルデザイン

☆地域住民の安全を支える災害対策拠点としての機能の充実

☆将来の行政需要の変化に対応できる機能性や柔軟性に優れる仕様

など、これらを備えた庁舎となるよう、工夫してまいります。

要望　館山市の景観に配慮しつつ、真に地域に役立つ庁舎として整備してほしい。

6月県議会一般質問に登壇

●館山市と県政に関するご要望をお寄せください。

三沢さとし　県議　議事務所
〒294-0037 館山市長須賀470-1
TEL0470-22-3051 FAX0470-22-3052